

科目コード N-301	専門分野 看護の統合と実践	単位数	必修 1単位
授業科目名	医療安全	時間数	30時間
担当教員	専任教員	開講時期	2年後期
授業概要			
医療事故のメカニズム、看護業務と事故発生要因、事故対策の方法を学ぶ。医療事故に関する看護師の責務と施策について学ぶ。			
到達目標			
1. 事故発生のメカニズムを説明できる。 2. 看護業務と事故発生要因の関係の基礎知識について説明できる。 3. 医療事故の種類と対策を説明できる。 4. 医療事故に関する看護師の責務と施策について意欲的に考えることができる。 5. 看護学生として、事故予防の行動ができる。			
ディプロマポリシーとの関連性			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみすえ社会に貢献する意欲を持っている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	医療安全を学ぶ意義1: 脳の情報処理過程	講義	教室2
第2回	医療安全を学ぶ意義2: 医療安全の導入	講義	教室2
第3回	医療安全を学ぶ意義3: 看護師の安全努力の責務	講義	教室2
第4回	医療安全を学ぶ意義4: 注意義務の理解	講義	教室2
第5回	医療安全に関わる用語の理解	講義	教室2
第6回	インシデント・アクシデント報告	講義	教室2
第7回	エラーが起きる要因とは	講義	教室2
第8回	医療事故と看護業務	講義	教室2
第9回	注射事故と事故防止	講義	教室2
第10回	KYTトレーニング1	講義	教室2
第11回	KYTトレーニング2	講義	教室2
第12回	KYTトレーニング3	校内実習	教室2
第13回	KYTトレーニング4(まとめ)	校内実習	教室2
第14回	RCA分析	校内実習	教室2
第15回	単位認定試験とまとめ		教室2
準備学習等			
授業に関連する動画教材を授業前後で視聴し、知識を身につけましょう。 VISUALEARN 事例で学ぶ医療安全			
成績評価方法	筆記試験、演習の参加度を総合して評価する		
テキスト 参考書	医学書院)看護の統合と実践② 医療安全		
受講要件 ・備考			

科目コード N-302	専門分野 看護の統合と実践	単位数	必修 1単位
授業科目名	専門職連携	時間数	15時間
担当教員	南和広域医療企業団職員・専任教員	開講時期	2年後期
授業概要			
多職種の専門的機能と役割をそれぞれの役割機能について学習する。 多職種と看護職の連携の実際を学び臨地実習で活用できる知識を修得する。			
到達目標			
1. 専門職種の役割と機能、連携について理解できる。 2. 多職種と看護職の実際について理解できる。			
ディプロマポリシーとの関連性			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみすえ社会に貢献する意欲を持っている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	専門職連携1: 多職種共同の意義と学習目的、看護職の専門性・役割	講義・演習	教室2
第2回	専門職連携2: 臨床工学技師の役割と協働の実際	講義・演習	教室2
第3回	専門職連携3: 歯科衛生士の役割と連携・協働の実際	講義・演習	教室2
第4回	専門職連携4: 社会福祉士の役割と協働の実際	講義・演習	教室2
第5回	グループワーク	演習	教室2
第6回	グループワーク	演習	教室2
第7回	グループワーク	演習	教室2
第8回	単位認定試験		教室2
準備学習等			
病院で活躍する専門職について定義や役割について学習をして臨みましょう。			
成績評価方法	課題レポート、グループワークのパフォーマンス、筆記試験を総合して評価する。 評価割合は授業で示す。		
テキスト 参考書			
受講要件 ・備考			

科目コード N-303	専門分野 看護の統合と実践	単位数	必修 1単位
授業科目名	看護マネジメント・災害看護と国際看護	時間数	30時間
担当教員	南和広域医療企業団看護師・医師、専任教員	開講時期	3年後期
授業概要			
<p>看護マネジメントの概念を学び、マネジメントの対象となる人・モノ・経済面から対象へのよりよい看護を提供するための組織・業務調整等を学び、他職種との協働・連携のための看護職の役割を理解する。 災害直後から支援ができる看護の基礎的知識と多様な実践活動を学ぶ。 国際社会において広い視野に基づき、諸外国との協力を考えるための基礎知識を学習する。</p>			
到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護管理の概念、看護組織と職務を説明できる。 2. 看護業務管理と看護基準、安全管理、看護提供システム、看護の質保証と評価について説明できる。 3. リーダーシップとフォロワーシップ、現任教育、継続教育、キャリア開発について述べるができる。 4. 災害看護の基礎知識を学習し、災害医療に関する法律に基づいた看護の役割を説明できる。 5. 国際協力活動における看護職の役割を説明できる。 			
ディプロマポリシーとの関連性			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみすえ社会に貢献する意欲を持っている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	看護とマネジメント	講義・演習	教室3
第2回	看護ケアとマネジメント	講義・演習	教室3
第3回	看護職のキャリアマネジメント	講義・演習	教室3
第4回	看護サービスのマネジメント	講義・演習	教室3
第5回	マネジメントに必要な知識と技術	講義・演習	教室3
第6回	看護を取り巻く諸制度	講義・演習	教室3
第7回	看護を取り巻く諸制度	講義・演習	教室3
第8回	災害看護1:災害看護の概要・災害医療の基本	講義・演習	教室3
第9回	災害看護2:災害への対応体制	講義・演習	教室3
第10回	災害看護3:急性期の災害医療・災害活動	講義・演習	教室3
第11回	災害看護4:亜急性期以後の災害医療・災害活動	講義・演習	教室3
第12回	国際看護1:国際社会の現状と国際看護活動の課題	講義・演習	教室3
第13回	国際看護2:国際看護活動を推進する人と機関	講義・演習	教室3
第14回	国際看護2:国際社会の現状と国際看護活動の課題	講義・演習	教室3
第15回	単位認定試験	試験	教室3
準備学習等			
動画教材を有効に活用し、イメージしながら看護の役割と実際を学習していきましょう。			
成績評価方法	筆記試験 100点		
テキスト 参考書	医学書院) 看護の統合と実践① 看護管理 医学書院) 看護の統合と実践③ 災害看護学・国際看護学		
受講要件 ・備考			

科目コード N-304	専門分野 看護の統合と実践	単位数	必修 1単位
授業科目名	看護の実践と研究	時間数	30時間
担当教員	専任教員	開講時期	3年前期・後期
授業概要			
研究における倫理規定を遵守し、看護研究を行う際の基礎となる研究プロセスを学ぶ。文献のクリティーク・研究方法・研究計画書の書き方、論文のまとめ方について学ぶ。看護実践を振り返り、卒業時に求められる知識・技術を習得し、対象に応じた看護を実践する能力について学ぶ。			
到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護における看護研究の意義・目的・方法の基礎知識について説明できる。 2. 研究テーマの設定と研究デザインの種類と特徴を説明できる。 3. 研究を行う上での倫理的問題とその対応について説明できる。 4. 文献検索・文献検討ができる。 5. 研究計画書の意義を理解し作成できる。 6. 論文の基本的構成を知り、その作成ができる。 7. 研究に必要な基本的知識を理解し、ケースレポートを作成することができる。 			
ディプロマポリシーとの関連性			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみずえ社会に貢献する意欲を持っている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	看護研究の基礎1	講義	教室3
第2回	看護研究の基礎2	講義	教室3
第3回	看護研究の基礎3	講義	教室3
第4回	看護研究の実践1	講義	教室3
第5回	看護研究の実践2	講義	教室3
第6回	看護研究の実践3	講義	教室3
第7回	問題解決のための研究的アプローチ1	講義	教室3
第8回	問題解決のための研究的アプローチ2	講義	教室3
第9回	問題解決のための研究的アプローチ3	講義	教室3
第10回	ケースレポート記述1	演習	教室3
第11回	ケースレポート記述2	演習	教室3
第12回	ケースレポート記述3	演習	教室3
第13回	ケースレポート記述4	演習	教室3
第14回	ケースレポート発表	演習	教室3
第15回	単位認定試験とケースレポートまとめ		教室3
準備学習等			
看護の科学的思考をケースレポートを記述しながら学びます。看護の成果を援助の関連を考えましょう。			
成績評価方法	筆記試験、ケースレポートを総合的に評価する。評価割合は授業の中で示す		
テキスト 参考書	医学書院)看護研究		
受講要件 ・備考			

科目コード N-305	専門分野 看護の統合と実践	単位数	必修 1単位
授業科目名	看護の統合	時間数	30時間
担当教員	専任教員、南和広域企業団看護師	開講時期	3年後期
授業概要			
看護の実践を振り返り、これまでに修得した様々な基礎分野、専門基礎分野、専門分野、臨地実習を統合し、自己の目指す実践力のある看護について探求する。これまでの学習内容を振り返ることで、自己の看護場面を洞察し卒業時の知識・技術・態度の統合を図り、看護の実践能力を高める。医療安全の視点では、多重課題など負荷状況でのリスクを理解し、対処方法を学ぶ。			
到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨地実習の学びを専門知識と関連させて看護実践を振り返ることができる。 2. 他者の様々な意見を聞き自らの考えを述べるができる。 3. 卒業時の到達レベルに向けて知識・技術・態度の統合を図り、看護の実践能力を修得できる。 4. 医療安全のメカニズムを理解し、多重課題やタイムプレッシャーなどの発生リスク・対応方法を理解できる。 			
ディプロマポリシーとの関連性			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみすえ社会に貢献する意欲を持っている			
授業計画			
回		授業方法	場所
第1回	医療安全① 事故防止の考え方	講義・演習	教室3
第2回	医療安全② 事例1(療養上の世話)	講義・演習	教室3
第3回	医療安全③ 事例2(診療の補助技術)	講義・演習	教室3
第4回	医療安全④ 事例3(地域における在宅療養者の安全)	講義・演習	教室3
第5回	医療安全⑤ 演習	講義・演習	教室3
第6回	医療安全⑥ 演習	講義・演習	教室3
第7回	ガイダンス、各領域の演習課題について、事前学習計画	講義・演習	教室3/実習室
第8回	演習:地域・在宅看護論、急性期・周術期、慢性期・終末期、精神、小児・母性(各領域の課題)	講義・演習	教室3/実習室
第9回	課題に対するアセスメント、技術演習	講義・演習	教室3/実習室
第10回	課題に対するアセスメント、技術演習	講義・演習	教室3/実習室
第11回	演習・プレゼンテーション準備	講義・演習	教室3/実習室
第12回	各領域演習プレゼンテーション	講義・演習	教室3/実習室
第13回	パフォーマンス評価	校内実習	基礎看護学実習室
第14回	パフォーマンス評価	校内実習	基礎看護学実習室
第15回	単位認定試験		教室3
準備学習等			
学習ノートを持参する。看護の実施を振り返り、自己の成長を感じましょう。			
成績評価方法	課題レポート、パフォーマンス評価、筆記試験を総合して評価する		
テキスト 参考書	医学書院)医療安全、各領域使用テキスト ビジューン よくある場面から学ぶ多重課題 Vol.1総論・予定変更 ビジューン よくある場面から学ぶ多重課題 Vol.2予定変更(報告・相談) ビジューン よくある場面から学ぶ多重課題 Vol.3複数の人との関わり		
受講要件 ・備考	すべての臨地実習を経験していること		